

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・ピー・エス

コード番号 4335 URL <http://www.ips.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長兼内部統制推進室室長 (氏名) 嶋 保人

TEL 06-6292-6236

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	818	41.1	△23	—	△24	—	△19	—
26年6月期第2四半期	579	9.6	43	83.8	43	83.3	26	42.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	△8.19	—
26年6月期第2四半期	11.09	—

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年6月期第2四半期	1,100	—	738	—	67.1	309.16
26年6月期	1,098	—	764	—	69.6	319.85

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 738百万円 26年6月期 764百万円

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年6月期	—	0.00	—	2.50	円 銭	2.50
27年6月期	—	0.00	—	2.50	円 銭	2.50
27年6月期(予想)	—	—	—	2.50	円 銭	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	43.7	30	32.4	30	32.5	22	41.5	9.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	2,466,000 株	26年6月期	2,466,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	77,000 株	26年6月期	77,000 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	2,389,000 株	26年6月期2Q	2,389,000 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策・金融政策による効果がみられたものの、消費税率引き上げに伴う個人消費の低迷などが長期化しております。また、世界景気下振れによる景気下押しリスクにも留意が必要な状況であり、本格的な景気回復にはいたりませんでした。

当社を取り巻く環境においては、企業の情報システム投資に対する慎重姿勢は継続しているものの、スマートフォン、タブレット端末の活用やクラウドサービスの利用は、今やビジネスシーンにおいて一般的なものとなりつつあります。特に、クラウド市場は、ソーシャルネットワーク関連企業に加え、一般企業の業務系、基幹系システムにも用途が広がりつつあることから急速に拡大しております。

かかる状況の下、当社は顧客ニーズに適応した営業提案を実施するとともに、SAP ERPをクラウドやモバイルで利用可能となるソリューションの提供を通じて、積極的にクラウド型のシステム利用を推進してきました。

当第2四半期累計期間におきましては、売上高は前年同期より増加し、当第2四半期会計期間では経常利益20万円を計上したものの、第1四半期会計期間の経費を吸収するにはいたりませんでした。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高8億18百万円（前年同期比41.1%増）、営業損失23百万円（前年同期は営業利益43百万円）、経常損失24百万円（前年同期は経常利益43百万円）、四半期純損失19百万円（前年同期は四半期純利益26百万円）となりました。

なお、当社はERP導入事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における当社の財政状態は、前事業年度末と比較して、資産合計が1百万円増加して11億円となり、負債合計が27百万円増加して3億61百万円となり、純資産合計が25百万円減少して7億38百万円となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1億67百万円減少し、1億72百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億5千万円の支出（前年同期は7百万円の支出）となりました。これは税引前四半期純損失19百万円（前年同期は税引前四半期純利益43百万円）、売上債権の増加による支出1億53百万円（前年同期は11百万円の収入）、たな卸資産の増加による支出58百万円（前年同期は64百万円の支出）、前受金の減少による支出5千万円（前年同期は3千万円の支出）、仕入債務の増加による収入59百万円（前年同期は3百万円の収入）、前払費用の減少による収入46百万円（前年同期は42百万円の収入）等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9百万円の支出（前年同期は0百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6百万円（前年同期は0百万円の支出）、無形固定資産の取得による支出4百万円、会員権の取得及び売却等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは7百万円の支出（前年同期は7百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による支出5百万円（前年同期は5百万円の支出）等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年8月13日に発表しました業績予想を修正しております。その内容につきましては、平成27年2月10日に公表しております「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,039	172,289
売掛金	209,014	362,514
仕掛品	227,423	285,950
その他	123,668	77,682
流動資産合計	900,146	898,436
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25,732	28,533
工具、器具及び備品(純額)	6,056	5,219
土地	18,863	19,003
リース資産(純額)	5,572	4,460
有形固定資産合計	56,224	57,216
無形固定資産		
ソフトウェア	15,973	8,765
その他	8,435	14,339
無形固定資産合計	24,409	23,104
投資その他の資産		
繰延税金資産	54,438	54,438
差入保証金	49,301	48,959
その他	13,778	17,978
投資その他の資産合計	117,518	121,376
固定資産合計	198,152	201,697
資産合計	1,098,299	1,100,133
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,474	134,915
未払金	41,151	45,484
未払費用	1,172	9,890
未払法人税等	6,979	1,940
賞与引当金	8,358	—
その他	120,753	75,589
流動負債合計	253,890	267,821
固定負債		
退職給付引当金	70,845	75,914
その他	9,441	17,822
固定負債合計	80,286	93,737
負債合計	334,177	361,558

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	94,202	94,202
利益剰余金	436,893	411,346
自己株式	△22,223	△22,223
株主資本合計	764,121	738,575
純資産合計	764,121	738,575
負債純資産合計	1,098,299	1,100,133

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	579,696	818,093
売上原価	351,126	659,686
売上総利益	228,570	158,406
販売費及び一般管理費	184,730	182,141
営業利益又は営業損失(△)	43,840	△23,734
営業外収益		
受取利息	103	80
未払配当金除斥益	123	129
その他	34	4
営業外収益合計	260	214
営業外費用		
支払利息	207	166
為替差損	12	750
その他	35	29
営業外費用合計	255	947
経常利益又は経常損失(△)	43,846	△24,467
特別利益		
会員権売却益	—	5,375
特別利益合計	—	5,375
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	43,846	△19,091
法人税等	17,344	482
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,501	△19,573

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	43,846	△19,091
減価償却費	11,555	12,896
差入保証金償却額	356	342
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,370	5,069
受取利息	△103	△80
支払利息	207	166
会員権売却損益 (△は益)	—	△5,375
売上債権の増減額 (△は増加)	11,129	△153,500
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64,100	△58,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,945	59,440
前受金の増減額 (△は減少)	△30,803	△50,177
前払費用の増減額 (△は増加)	42,685	46,557
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,319	9,198
その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,410	△2,295
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,434	10,095
その他	△123	—
小計	17,801	△145,281
利息の受取額	103	80
利息の支払額	△207	△166
法人税等の支払額	△24,891	△5,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,193	△150,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△369	△6,350
無形固定資産の取得による支出	—	△4,469
差入保証金の回収による収入	81	—
貸付金の回収による収入	500	500
会員権の取得による支出	—	△6,075
会員権の売却による収入	—	9,675
保険積立金の積立による支出	—	△1,200
その他	△192	△1,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	19	△9,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△5,878	△5,984
リース債務の返済による支出	△1,169	△1,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,048	△7,194
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,223	△167,750

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	522,227	340,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	508,004	172,289

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。